

2023年度私立大学生保護者の家計負担調査アンケート結果の概要

下宿生の1日あたりの生活費は8年連続で1000円以下に！

教育資金の積立の平均年数は16年以上、約3人に1人が借入で教育費を調達

アルバイト収入の使途の約6割は、学生生活に必要な費用（交通費・書籍代等）に支出

はじめに

学生・保護者にとって、大学の授業料をはじめとした教育費の負担は大変重いものとなっており、その負担軽減を図ることは喫緊の課題と考えます。

京都私立大学教職員組合公費助成推進会議は、毎年、私立大学に通う保護者の方々を対象に教育費の負担状況等を明らかにするアンケート調査を実施しています。

本調査は1988年から実施しており、2023年度で36回目となります。以下、調査結果の概要を紹介させていただきます。

I. 調査の経過、対象、方法

- (1) 本調査は1988年から実施し、2023年度で36回目となります。
- (2) 調査方法は、Webアンケートによる回答集計です（2023年5月～10月に実施）。
- (3) 本調査は、京都先端科学大学、京都橘大学、同志社大学、立命館大学、龍谷大学に通学する学生の保護者の皆様（543名）にご協力いただき、貴重な調査結果を得ることが出来ました。
- (4) 本調査を実施した京都私立大学教職員組合公費助成推進会議は、京都と滋賀にある17の私大教職員組合で構成され、学費負担の軽減と奨学金制度の改善、私立大学・短期大学への公費助成の増額を目的に活動しています。

II. 受験から入学までの費用

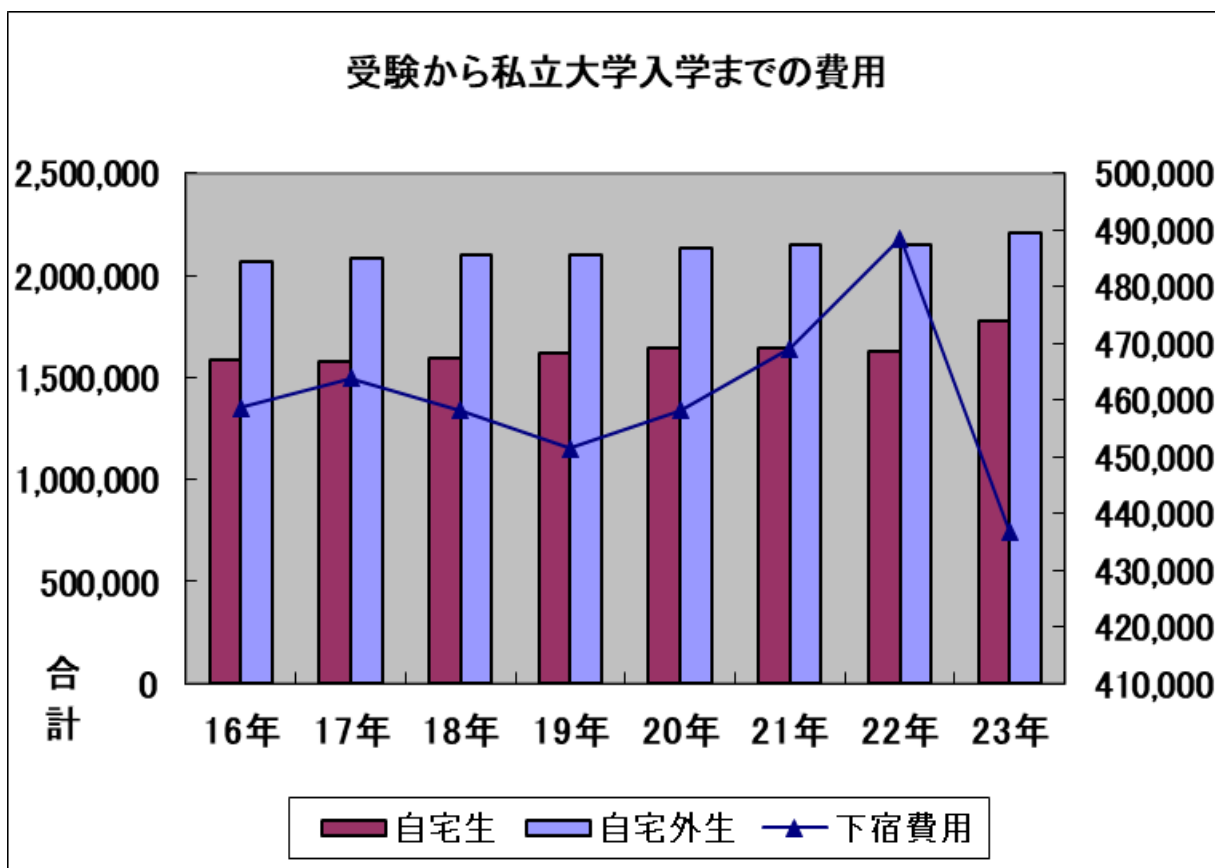
受験から入学までにかかった費用は、**自宅生で177万7874円、自宅外生で220万4262円**となっています。また、「受験から私立大学入学までの費用(自宅外生)」の総額に占める初年度納付金の割合は、**約67.0%**(昨年度約63.1%)となっており、入学時の費用負担が保護者の方々にとって、非常に重いものとなっている実状が浮き彫りになりました。

◎受験から私立大学入学までの費用

【円】

	受験費用	受験回数	初年度納付金	礼金・敷金	家賃	生活用品	合計
自宅生 (16年)	271,430	4.7	1,316,816	-	-	-	1,588,246
" (17年)	263,762	4.7	1,316,816	-	-	-	1,580,578
" (18年)	258,509	4.6	1,333,418	-	-	-	1,591,927
" (19年)	280,288	4.8	1,336,033	-	-	-	1,616,321
" (20年)	300,523	5.0	1,340,723	-	-	-	1,641,246
" (21年)	289,406	4.6	1,357,080	-	-	-	1,646,486
" (22年)	271,353	4.0	1,357,080	-	-	-	1,628,433
" (23年)	300,535	4.1回	1,477,339	-	-	-	1,777,874
自宅外生 (16年)	291,641	4.4	1,316,816	154,867	49,878	253,957	2,067,159
" (17年)	302,935	4.3	1,316,816	160,039	50,453	253,339	2,083,582
" (18年)	304,346	4.2	1,333,418	161,726	52,398	244,104	2,095,992
" (19年)	315,703	4.4	1,336,033	168,369	52,743	230,332	2,103,180
" (20年)	334,455	4.6	1,340,723	171,033	53,349	233,882	2,133,442
" (21年)	320,138	4.5	1,357,080	175,319	54,923	238,903	2,146,363
" (22年)	304,577	4.1	1,357,080	188,919	55,898	243,691	2,150,165
" (23年)	290,122	3.7回	1,477,339	159,817	57,641	219,343	2,204,262

※2023年度の初年度納付金は、文部科学省「私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査結果(実験実習料・その他の費用を含む総計)」を参照。



Ⅲ. 「入学の年にかかる費用」の総額について

自宅外通学者（新入生）の「入学の年にかかる費用」の総額は、**294万5172円**となっています。この費用は、自宅外通学者（新入生）の家庭の年収（平均807万1379円）の約36.5%（前年度30.3%）を占める状況となっています。

(1) 入学の年にかかる費用の総計（自宅外通学者）

受験から私立大学 入学までの費用 220万4262円	+	仕送り額 (4月～12月) 74万0910円	=	入学の年にかかる 費用の総計 294万5,172円
----------------------------------	---	------------------------------	---	--

* 「仕送り額」の合計については、4～5月分は「5月の仕送り額」（平均87,018円）を、6～12月分は「6月の仕送り額」（平均80,982円）を基に算出しています。

(2) 税込年収に占める「入学の年にかかる費用」の割合

入学の年にかかる費用 294万5,172円	=	税込年収に 占める割合 約36.5%
<hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/>		
平均税込年収（自宅外） 807万1,379円		

(3) 自宅外通学者の「入学の年にかかる費用」

	受験費用	住居費	私大初年度 納付金	仕送り額 (4月～12月)	合計	前年度比
平均	290,122	436,801	1,477,339	740,910	2,945,172	2.85%
増減額	-14,455	-51,707	120,259	27,550	81,647	

(4) 「入学の年にかかる費用」の推移

住居別	18年	19年	20年	21年	22年	23年
自宅外 (増減費)	2,796,340 -0.3%	2,834,798 1.3%	2,802,259 -1.14%	2,847,757 1.6%	2,863,525 0.55%	2,945,172 2.85%
自宅 (増減費)	1,591,927 -0.32%	1,616,321 1.5%	1,641,246 1.5%	1,646,486 0.3%	1,628,433 -1.09%	1,777,874 9.1%

IV. 「奨学金」、「教育資金の積立て」について

新入生で「奨学金」を「申請する予定」と回答した割合は、**全体の47.3%(前年比+5.6%)**に上っています。その一方、「家計でやり繰りする」(31.1%)と「返済義務があるため」(27.8%)に「奨学金」を申請しないと回答する割合は、今回の調査でも全体の6割近くに達しており、卒業後に多額の奨学金を返済しなければならない状況を考え、奨学金の借り入れを控える傾向が続いています。

また、教育資金の積立について、新入生の保護者の7割近くが「**積立をしている**」(67.2%)と回答するとともに、**積立年数は平均(全回生)で「16.5年」**と長い年月をかけて教育資金を積み立てており、教育費の負担に備えている状況が分かります。

(1) 申請する予定か、あるいは既に受給しているか [左; 人数、右; 割合]

	はい		いいえ		記入なし		合計	
1回生	140	47.3%	156	52.7%	0	0.0%	296	100%
2回生	61	44.9%	75	55.1%	0	0.0%	136	100%
3回生	40	39.6%	61	60.4%	0	0.0%	101	100%
4回生	2	25.0%	6	75.0%	0	0.0%	8	100%
5回生以上	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	100%
記入なし	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	244	44.9%	299	55.1%	0	0.0%	543	100%

(2) 申請しない、あるいは受給していない理由 [左; 人数、右; 割合]

	申請基準に合わず		手続きが面倒		返済義務のため			
1回生	78	32.4%	8	3.3%	67	27.8%		
2回生	36	33.3%	5	4.6%	30	27.8%		
3回生	21	23.1%	4	4.4%	28	30.8%		
4回生	0	0.0%	1	11.1%	2	22.2%		
5回生以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
記入なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
合計	135	30.0%	18	4.0%	127	28.2%		
	制度を知らない		家計でやり繰りする		その他		合計	
1回生	3	1.2%	75	31.1%	10	4.1%	241	100%
2回生	2	1.9%	32	29.6%	3	2.8%	108	100%
3回生	1	1.1%	32	35.2%	5	5.5%	91	100%
4回生	0	0.0%	6	66.7%	0	0.0%	9	100%
5回生以上	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
記入なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	6	1.3%	146	32.4%	18	4.0%	450	100%

(※一人、2つまで回答可)

(3) 教育資金の積立てについて

①積立ての有無

[左; 人数、右; 割合]

	はい		いいえ		記入なし		合計	
1回生	199	67.2%	97	32.8%	0	0.0%	296	100%
2回生	93	68.4%	43	31.6%	0	0.0%	136	100%
3回生	74	73.3%	27	26.7%	0	0.0%	101	100%
4回生	6	75.0%	2	25.0%	0	0.0%	8	100%
5回生以上	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100%
記入なし	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	374	68.9%	169	31.1%	0	0.0%	543	100%

②積立て年数と平均月額

	開始年齢	積立年数	平均月額
1回生	1.3歳	16.5年	15,534円
2回生	1.8歳	15.9年	14,898円
3回生	0.8歳	17.2年	16,148円
4回生	1.2歳	17.2年	18,500円
5回生以上	0.0歳	18年	17,500円
記入なし	-	-	-
平均	1.3歳	16.5年	15,560円

V. 学費などの準備について

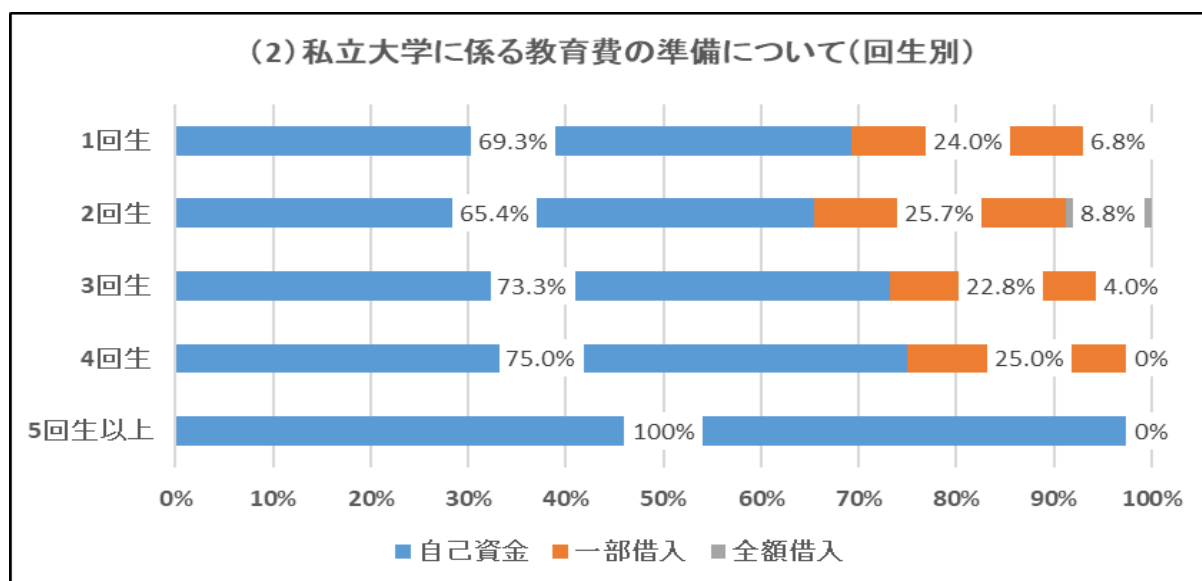
私立大学にかかる「教育費」の準備（自宅生）について、「一部借入 (25.0%)」と「全額借入 (8.0%)」を合計すると、**約3人に1人が「借入」**で調達する状況となっています。

(1) 私立大学にかかる「教育費の準備について」（自宅生・自宅外生） [左：人数、右：割合]

	自己資金		一部借入		全額借入		記入なし		合計	
自宅生	134	67.0%	50	25.0%	16	8.0%	0	0.0%	200	100%
自宅外生	242	70.6%	81	23.6%	20	5.8%	0	0.0%	343	100%
記入なし	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	376	69.2%	131	24.1%	36	6.6%	0	0.0%	543	100%

(2) 私立大学にかかる「教育費の準備について」（回生・学年別） [左：人数、右：割合]

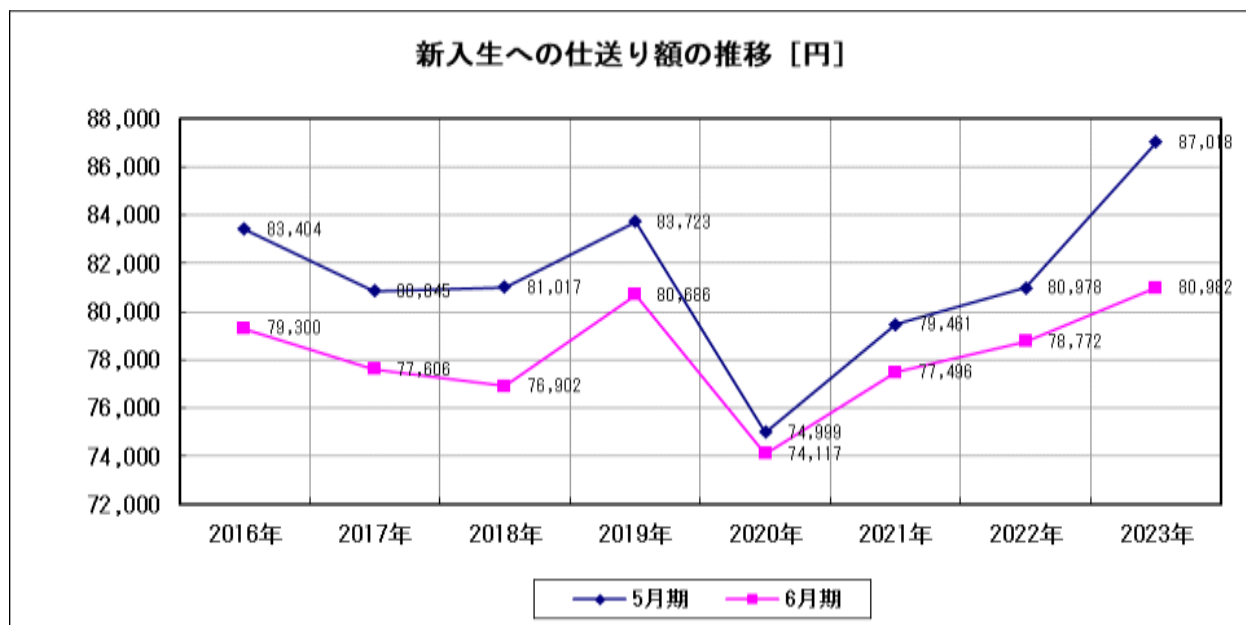
	自己資金		一部借入		全額借入		記入なし		合計	
1回生	205	69.3%	71	24.0%	20	6.8%	0	0.0%	296	100%
2回生	89	65.4%	35	25.7%	12	8.8%	0	0.0%	136	100%
3回生	74	73.3%	23	22.8%	4	4.0%	0	0.0%	101	100%
4回生	6	75.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	100%
5回生以上	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100%
記入なし	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	376	69.2%	131	24.1%	36	6.6%	0	0.0%	543	100%



VI. 仕送り額の推移について

新入生の仕送り額は、昨年より若干回復（6月の仕送り額・平均8万982円、前年比+2210円）にあるものの、家賃（平均5万7641円）を差し引くと2万3341円しか残らず、1日あたり**約778円**（昨年762円）で生活を送ることになるため、学生はアルバイトで生活費を稼ぐことを余儀なくされており、依然厳しい生活を強いられる状況となっています。

なお、仕送り額の過去最高年度は1998年の11万6223円、1日あたりの生活費の過去最高年度は1995年度の2337円です。仕送り額は7割程度、生活費は3分の1程度の水準まで落ち込んでいます。



VII. 学生のアルバイトについて

学生がアルバイトをしている割合は5割を超えていますが、アルバイト収入の用途について「交際・レジャー費」が全体の3割を占める一方、「**交通費 (9%)**」「**日常生活費 (24%)**」「**書籍代 (10%)**」「**クラブ・サークル費 (17%)**」の合計は**6割**を超えており、学費（授業料）以外に学生生活で必要となる費用をアルバイトで賄っている状況にあることが伺えます。

①(回生別)アルバイトを行っている、又は予定している

[左；人数、右；割合]

	はい		いいえ		記入なし		合計	
1回生	154	52.0%	142	48.0%	0	0.0%	296	100%
2回生	79	58.1%	57	41.9%	0	0.0%	136	100%
3回生	61	60.4%	40	39.6%	0	0.0%	101	100%
4回生	4	50.0%	4	50.0%	0	0.0%	8	100%
5回生以上	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100%
記入なし	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	300	55.2%	243	44.8%	0	0.0%	543	100%

②(自宅・自宅生別)アルバイトを行っている、又は予定している

[左；人数、右；割合]

	はい		いいえ		記入なし		合計	
自宅生	113	56.5%	87	43.5%	0	0.0%	200	100%
自宅外生	187	54.5%	156	45.5%	0	0.0%	343	100%
記入なし	0	-	0	-	0	-	0	-
合計	300	55.2%	243	44.8%	0	0.0%	543	100%

③アルバイト収入

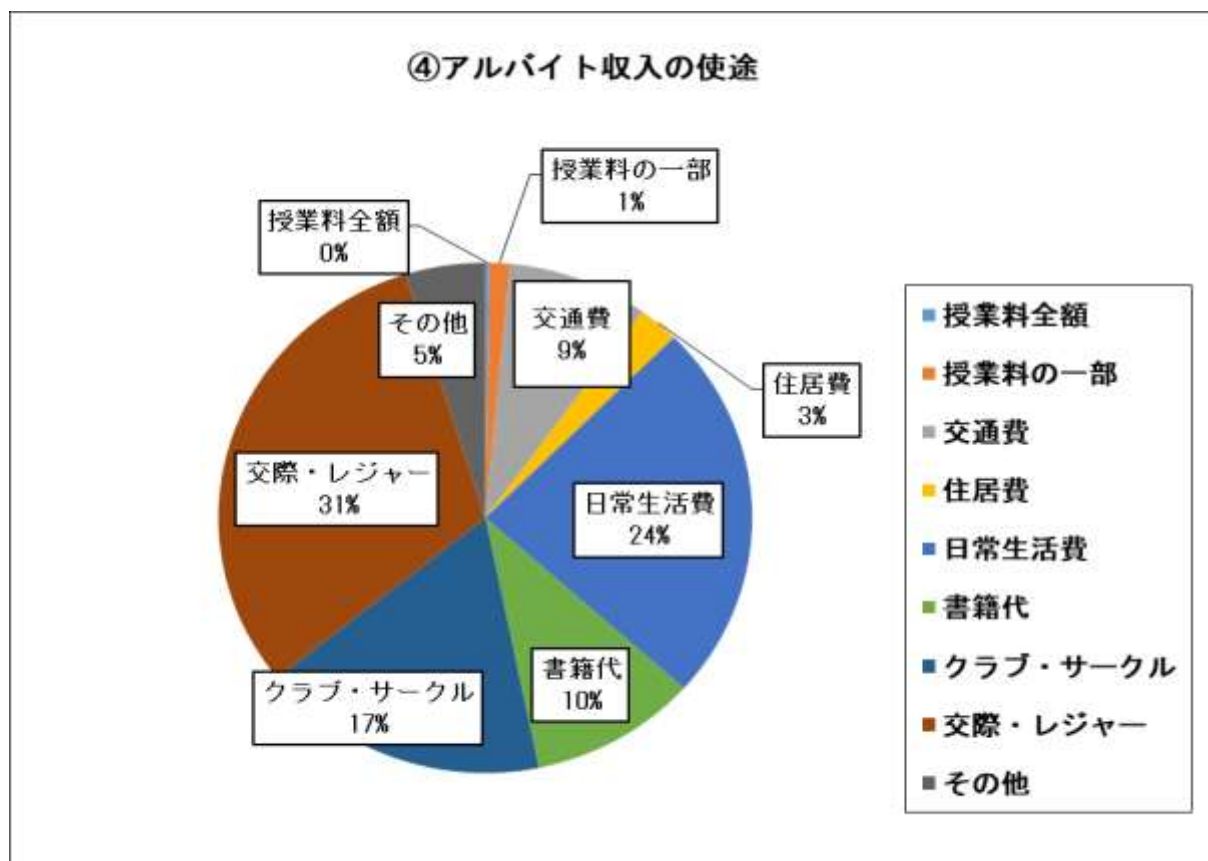
【円】

	自宅生	自宅外生	記入なし	平均
1回生	39,976	34,919	-	37,255
2回生	43,200	40,933	-	41,655
3回生	45,652	44,464	-	44,810
4回生	30,000	30,000	-	30,000
5回生以上	30,000	30,000	-	30,000
記入なし	-	-	-	-
平均	41,208	39,125	-	39,940

④アルバイト収入の使途 (複数回答)

[左; 人数、右; 割合]

	授業料全額		授業料の一部		交通費		住居費		日常生活費	
1回生	2	0.5%	6	1.5%	29	7.4%	8	2.0%	92	23.5%
2回生	0	0.0%	1	0.4%	23	10.0%	6	2.6%	59	25.8%
3回生	0	0.0%	3	1.7%	16	9.2%	6	3.4%	40	23.0%
4回生	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	2	25.0%
5回生以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%
記入なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	2	0.2%	10	1.2%	69	8.5%	20	2.5%	195	24.1%
	書籍代		クラブ・サークル		交際・レジャー		その他		合計	
1回生	39	9.9%	77	19.6%	125	31.9%	14	3.6%	392	100%
2回生	23	10.0%	36	15.7%	66	28.8%	15	6.6%	229	100%
3回生	18	10.3%	27	15.5%	54	31.0%	10	5.7%	174	100%
4回生	2	25.0%	0	0.0%	3	37.5%	0	0.0%	8	100%
5回生以上	0	0.0%	1	20.0%	2	40.0%	0	0.0%	5	100%
記入なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	82	10.1%	141	17.5%	250	30.9%	39	4.8%	808	100%



【参照データ】

アルバイト収入の推移（全回生）

【円】

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
自宅生	39,593	41,381	41,169	44,028	41,118	41,654	41,208
自宅外生	36,587	37,864	38,157	41,308	36,639	38,875	39,125
平均	38,118	39,618	39,690	42,825	38,995	40,285	39,940

アルバイト収入の推移（新入生）

【円】

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
自宅生	36,852	37,489	37,039	42,739	38,242	38,805	39,976
自宅外生	34,190	34,123	34,373	39,169	33,534	36,351	34,919

Ⅷ. アンケートに寄せられた保護者の声(抜粋)

<学費・家計>

*とにかく大学にかかる費用が高すぎる。年間170万円以上×4年、教材費や実験などの用品代、交通費も4年で50万円、さらに同時期に大学生が2人いて家計が破綻している。有利子貸与型奨学金を利用することになったが、卒業後に借金を背負い有利子で返金していく不安が大きい。

*私学の教育費用が高く、子どもたちの選択肢のためには何とか働いて進ませてあげたいのですが、どうにもならないと感じる事があります。「国公立に行けばいい」というのは、行きたい所にいけないことにもなるので、そんなつまらない会話を子どもとはしたくありません。

*食事・家具家電付きの寮に入り、1年分を一括払いしたため、月別の家賃は10万になります。学費を合わせると、かなりの負担となります。確かに物価は上がっていますが、学費の上昇は、それを上回るように感じています。学生が安心して大学生活を送ることができるように、給付型奨学金を充実させて欲しいです。

*学費が高すぎるため家計負担が大きい。

<奨学金>

*学びたい人にとって高い授業料で諦めるのではなく、奨学金等の制度を充実させて大学に入りやすくしてほしいです。

*近い将来奨学金の支払い免除並びに授業料免除の学生生活が期待されます。より高度な学業を求める学生はあまねく、希望する進学が叶う時代が来る事が待たれます。

*世帯収入で、奨学金の枠を狭くしないでほしい。教育資金を親が用意してる家庭もあれば、祖父母等の援助、持ち家の有無で家庭ごとの負担は

違ってくるはず。

*4人兄弟の末っ子ですので、年収の数字から見れば負担は多くないように見えますが、私立大学生を複数抱えていた頃の返済を現在しています。無利子とはいえ、毎月の返済負担は大変です。また有利子で借りていたものもあります。就職がうまくいかず離職して収入が減っても返済は続くため本当に大変です。

<就職>

*昨今の就活の早期化が心配です。大学からの案内に反応しない学生も説明会への参加、面談を必須にするなど、ある程度こまめにご指導お願いしたく、親に対しても情報提供があればありがたいです。

<国への要望>

*大学までの高等教育について、無条件での学費無償化の実現を期待します。

*世帯収入があっても子どもが多いと多くの金が必要になる。平等に教育の機会を与えられる制度が欲しい。

<その他>

*自宅外通学なので些細なことで困っていないか心配している。大学内に「よろず相談」できる場所があればありがたい。

*一人暮らしをしている学生に対するケア、保護者に対する状況連絡などを充実させてほしいです。怪我や病気の際、学校の病院でみもらえる、又は状況によっては紹介してもらえるような気軽に行ける保健室システムを充実させてほしい。けがや病気の際、我慢して一人暮らしの部屋で耐えていたなどの話をよく聞くので。